

平成28年5月12日
独立行政法人 家畜改良センター岩手牧場

牧草(1番草)の収穫が始まります

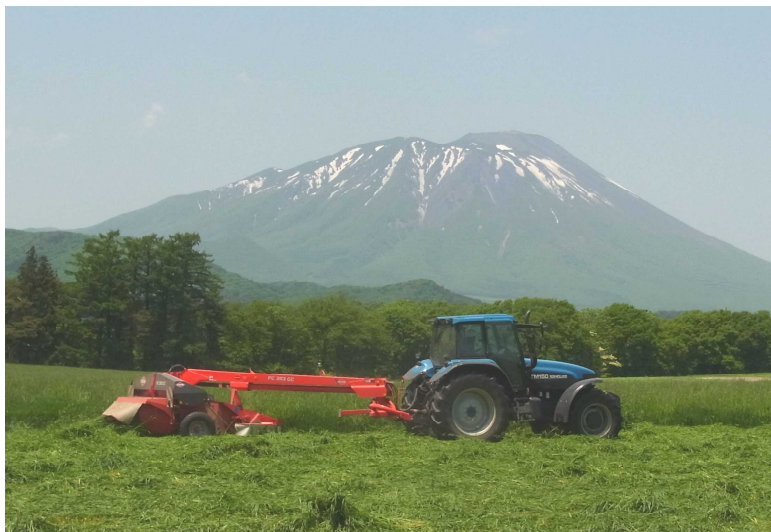
独立行政法人家畜改良センター岩手牧場(盛岡市下厨川字穴口、場長:分部喜久男)では、5月18日より牧草(1番草)の収穫を開始する予定です(※)。

岩手牧場は、農林水産省所管の独立行政法人として、乳用牛の育種改良事業を行っており、飼養する約800頭の乳用牛に給与する粗飼料を確保するため、場内約400haのほ場で牧草や飼料用トウモロコシを栽培し、乾草やサイレージに調製することで、年間約8,000tを生産・利用しています。

牧草は毎年この時期に収穫を始めますが、春の晴天の中、雄大な岩手山を背景に牧草の収穫を行う風景は、酪農主産県である岩手県を代表する春の風景です。

1番草の最初の収穫作業を「鎌入れ」と呼び、「鎌入れ」を行う日は、今後1年間の作業の安全と豊作を祈念する特別の日でもあります。

※ 天候により収穫開始日は前後する場合があります。また、家畜防疫の関係上留意事項等をご説明する必要がありますので、取材を希望されるマスコミ関係者の方は事前に下記担当者へ連絡下さいますようお願いいたします。



「日本の食卓 改良と技術で守ります」
～小さなタネから大きな牛まで～

問い合わせ先 〒020-0123 岩手県盛岡市下厨川字穴口72-21
独立行政法人 家畜改良センター岩手牧場
担当者:業務課:戸澤、小倉
TEL:019-641-2130
FAX:019-641-4725
URL: <http://www.nlbc.go.jp/iwate/index.htm>